



古都っ子だより

令和6年7月18日
岡山市立古都小学校

《心豊かにたくましく生きる児童の育成》 元気な子 やさしい子 考える子



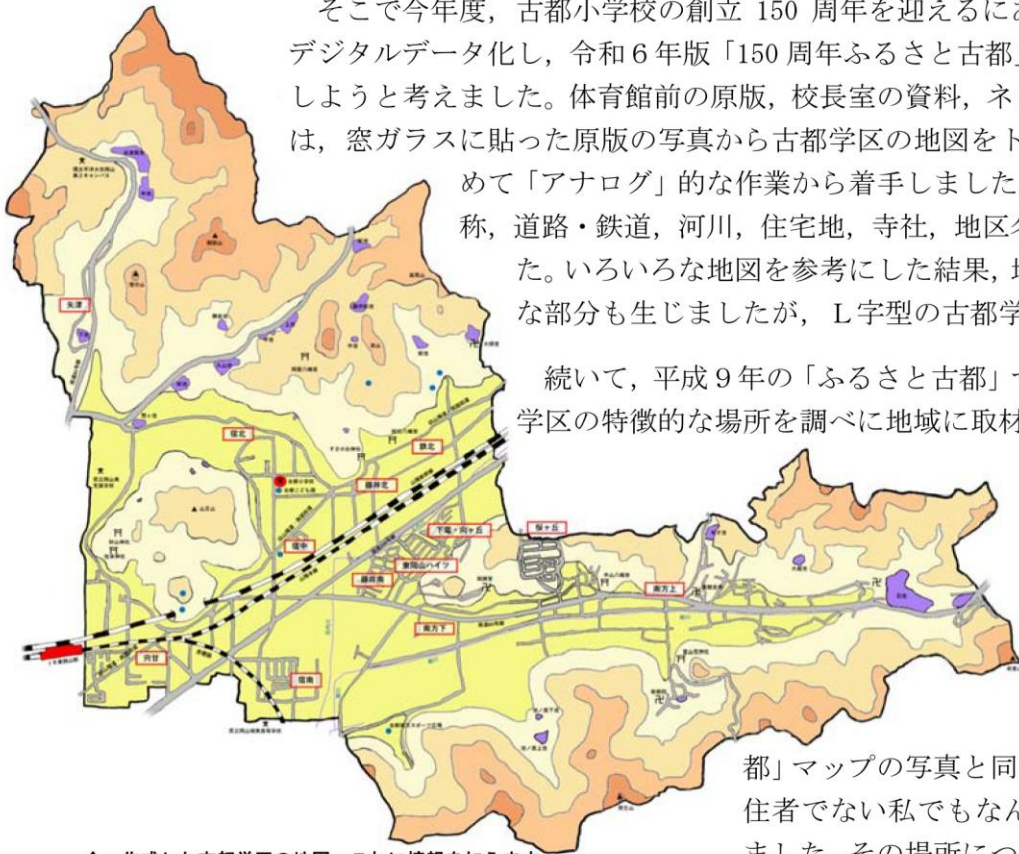
行ってみる？ 見てみる？

今から25年ほど前、古都小体育館前に「ふるさと古都」の名所、旧跡等について、写真と文章の解説を添えた「ふるさと古都」マップが掲示されました。平成9年、本校の校長であった若狭元就先生が中心となって作成されたものと聞いています（令和4年度学校だより2月号に掲載、右QRコード参照）。長い年月を経た今、掲示物の写真やキャプションの一部は色褪せ、そこに取り上げられている内容も時代の変化を感じるものになりました。



↑学校だよりR4年度2月号

そこで今年度、古都小学校の創立150周年を迎えるにあたり、この掲示物の内容をデジタルデータ化し、令和6年版「150周年ふるさと古都」マップとしてアップデートしようと考えました。体育館前の原版、校長室の資料、ネットの情報等を参考に、まずは、窓ガラスに貼った原版の写真から古都学区の地図をトレースし引き直すという極めて「アナログ」的な作業から着手しました。次に等高線の情報、山の名称、道路・鉄道、河川、住宅地、寺社、地区名等の諸情報を書き加えました。いろいろな地図を参考にした結果、地区の境界等に少しアバウトな部分も生じましたが、L字型の古都学区地図ができました。



続いて、平成9年の「ふるさと古都」マップに掲載されていた古都学区の特徴的な場所を調べに地域に取材に出かけました。古い神社、山の上の公園、地区のはずれの池、街中の史跡、新幹線が駆け抜けるトンネル等々。古都学区の広さ、自然、歴史、人々のくらしは本当にバラエティに富んでいます。25年の時を越え「ふるさと古都」マップの写真と同じものを見つけると、学区在住者でない私でもなんだかうれしい気持ちになりました。その場所についての説明表示を見たり、昔

↑作成した古都学区の地図。これに情報を加えます。
の写真と同じアングルで写真を記録したりしました。その場所に行ってみて初めて分かることの多さに気付かされました。



↑ 宍甘、山王山トンネルから



↑ 宿、岡屋八幡具から南側



↑ 藤井本陣の古い家並



↑ 古都南方、満願寺慈眼院



↑ 学区東端、石池